

令和6年7月1日



ようこうだより 7月



今年は例年に比べ遅い梅雨入りとなりましたが、雨が上がればどろんこになりながら泥遊びを楽しみ、晴れた日には冷たい水の感触を求めて水遊びを満喫しています。先日、園庭に幼児用のプールを設置しました。お昼寝から起きてきた子どもたちが設置されたプールに気が付くと「プールやるん!」「明日プール?」と期待を膨らませワクワクしている様子が見られています。天気予報が日々変化していると「梅雨明けはいつになるのだろう」と気になりますが、プールができる日には思い切り水遊びを楽しんでもらいたいと思います。プールをした後は体力を消耗しますので家庭でもしっかりと身体を休めながら、毎日元気に登園してもらいたいと思います。

昨年のこの時期に『120年に一度しか咲かない』竹の花が咲き、その後裏山の竹が枯れるという何とも珍しい事象が起きました。今年も七夕に合わせて笹を探しに裏山へ入っていきましたが、まだまだ立派な竹が生えてくるには時間がかかりそうです。それでも、伝統行事である七夕を子どもたちと迎えるために、そら組さんの力を借りながら数少ない笹を持ち帰り、ホールや0・1歳児保育室に飾ることができました。子どもたち一人ひとりのお願い事が5日の七夕会に向け、飾られていくのを楽しみにしています。お子様と一緒にぜひお願い事を飾ってくださいね☆



【子どもたちの中にいて】 ●日かげ

子どもには一ぱいの日なたと共に、静かな日かげも与えてやりたい。

夏の日が強くなると、木の葉が繋がって涼しい影をつくってくれる。自然はなんというこまやかな心づかいと、やさしいいたわりに行き届いていることであろう。励ましと共にいたわりを忘れない。引き立てると共に憩わせることを忘れない。

日盛りの中を駆けまわって、その広い明るい光線に、ぐんぐんと活気をあおり立てられている子どもが、ふと、涼しい木かげに来て、にっこりと、なごやかな顔を見せることがある。

日なたがなければ子どもは生きない。しかしまた、日なたばかりでも子どもは生きられない。日なたに生き、日かげにかばわれて生きる子どもではある。

わたしたちも、子どものために、一ぱいの日なたとなると共に、よき日かげにもなってやりたいものだ。

倉橋惣蔵著 「育ての心」より

7月 行事予定

2(火) プール開き

5(金) 七夕会

8(月) 笹焼き

27(土) 夕涼み会

8月 行事予定

5(金) 平和のつどい

23(金)/24(土) お泊り保育 (5歳児)



6月8日の草刈りでは保護者の方(8名)にご協力いただきました。ありがとうございました!!

